

東海北陸 高齢者施設ケア施設の看護管理者交流会

11月28日ふれあい福寿会館にて、看護協会主催の研修会が開催されました。「医療介護総合確保推進法」により、今後更に職種間の連携の在り方がもとめられるなか、現場からの事例紹介として、サンビレッジ新生苑施設長の馬淵が「介護施設における連携の基盤強化」と題して、介護と看護の連携について新生苑での取り組みを報告しました。（昨年より日本看護協会の委員を務めています）参加者は、岐阜県・石川県・福井県・富山県の施設看護師50名程で、生活を看る看護師の役割や、24時間のケアを提供する介護職員との連携やコミュニケーションについて、講演会後のグループワークに入りながら、お互いに学ぶ機会となりました。

